

「地域とともに多賀の子を育てよう」

多賀町	活動名：多賀町地域学校協働本部	町内6校園	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：130人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

（1）読み聞かせ（小・中・保・こども園）、絵本の修繕（保・こども園）

保育園・こども園・小学校・中学校では、静かに話を聞く体制が整い、幼小中連携の成果が表れている。クラス単位での読み聞かせにより「少人数の方が本選びがしやすい」との声をいただいている。今年度も実施した絵本の修繕は、基本の修繕が中心で、一冊にかなりの時間を要するものもある。子どもたちが好きな絵本類を時間をかけて修繕していただいた。



【5年生ミシン学習指導】

（2）福祉・琴・ミシン・環境学習（小・中）

地域のサークル等がゲストティーチャーとなり、琴や福祉などについて、本物に触れる機会を持ち、体験を交えて学習した。ミシン学習では、洋裁を教えておられた方が事前にミシンの調整もしてくださり、スムーズに学習が進められた。福祉学習では、盲導犬・手話・点字なども教えていただいた。また、環境学習では中学校特別支援学級の生徒に、花・野菜作りを収穫から販売まで、年度当初から継続して指導していただいた。

（3）自然保育時の見守り（大滝たきのみやこども園）、園外活動時の見守り（久徳うぐいすこども園）

自然保育を重視した大滝たきのみやこども園では、近くの高取山へ定期的に出かける活動が行われている。毎月ローテーションにより、雨天時でも見守り活動をしていただいた。毎回、子どもたちは、地域の方との触れ合いをたいへん楽しみにしている。また、久徳うぐいすこども園では、園庭の工事に伴い、グラウンドが使用できる近隣施設での活動見守りをしていただいた。毎月ローテーションにより、ボール遊びや虫つかみ、遊具遊びの見守り等にご協力いただいた。

■ 実施に当たっての工夫

読み聞かせや授業補助、環境学習などについて、打合せなどをできるだけ行ない、学校や園とボランティアの方々の双方の希望に沿って進められるようにした。子どもたちからのお礼の気持ちがボランティアの方に直接伝わるよう、学校や園へ働きかけを行なっている。「毎年お手紙を残しているんです」と、うれしそうに話してくださる方も多い。

■ 事業の成果

福祉学習では、より内容の濃いものにするために、ボランティアの方も工夫改善をされ、子どもたちの記憶に残る学習ができた。また、特別支援学級の生徒に対し、種まきから収穫・販売まで一連の流れを指導していただき、毎日の野菜の生育状況を共有できた。さらに、こども園の自然活動見守りなどでは、交流がより深められた。



【自然保育見守り】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学校支援の更なる充実を図るため、より多くのボランティアを創出することが必要である。ボランティアの募集をより広くおこない、子どもたちが本物に触れる学習をすすめられるよう学校との連携を図っていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

年に2回、ボランティア活動だより「ボランティア通信」を発行し、地域・校・園・公共施設で回覧および掲示を行った。更に一年間の活動報告書を作成し、全ボランティア登録者に配布したり会議等で紹介したりするなど、活動内容について周知した。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（教務主任、各学年担当者）

報告書記入者（地域コーディネーター）